

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2013.03.11-03.15

*記事は東京発行・最終版

P M2.5の被害に揺れる中国 (イメージ=ブルームバーク)



パンテ・レーザー複合機の特徴を説明するタイリフトの林氏

3月11日(月)

■台湾の板金機械、中国で勢力
レーザー加工機強化
台湾の板金機械メーカーが、レーザー加工機事業に力を入れている。多品種少量生産への対応のしやすさを武器に、主戦場の中国市場で勢力を伸ばしつつある。台湾勢は中位機種が主力。(8面)

3月13日(水)

■新日鉄住金、君津高炉1基休止
中国・東南アで新設相次ぐ



新日鉄住金が、君津製鉄所の高炉3基のうち1基を休止する方向で検討。合併で粗鋼生産能力を絞り込む。中国や東南アジアでは製鉄所が新設され、鉄鋼供給は過剰、市況は低迷。(1面)

■三菱重工、ディーゼル合併始動
500kW-1600kW

三菱重工は、中国ディーゼルエンジン大手の上海柴油机股份有限公司との合併会社「上海三菱重機」が営業を始め

た。500kW-1600kWのディーゼルエンジンの生産・販売する。(7面)

■韓国S K・中国子会社に出資
東洋紡/ペットボトルフィルム増

東洋紡は、韓国S Kグループ傘下・中国のフィルム企業S K C (江蘇) ハイテクプラスチックに出資する。ペットボトル向けポリエステル製シュリンクフィルムの需要増を見込む。(12面)

3月14日(木)

■テング、大連に集約
ソフト開発・販売一体体制

テングは、北京市の拠点にあるソフトウェア販売機能を、大連市の開発拠点に2013年中に集約する。業務マニュアルの作成ソフトを投入を機に、製販一体体制を整える。(21面)



大連拠点での営業会議(テング)

■フィーサ、中国で生産
射出成形装置部品/タイは品目増加

フィーサは、射出成形装置部品などの海外生産を拡大する。中国蘇州市の現地法人でホットランナーと呼ばれる射出成形装置部品を夏から生産。タイは生産品目を6点から10点に増やす。(7面)

■日立金属、ライセンス供与更新
ネオジム磁石/中国2社

日立金属は、ネオジム磁石に関する保有特許のライセンス供与で、中国の磁石メーカー2社と契約を更改した。基本特許が2014年失効に伴い、製法に関する周辺特許を含めて2社と再契約。(10面)

3月15日(金)

■航空機部品を受託加工
金属技研/蘇州H I P工場稼働

金属技研は、江蘇省蘇州市で熱間静水圧プレス(H I P)装置を使った航空機部品の受託加工サービスを3月中にも始める。現地航空機産業拡大に対応。医療、電子関連部品の加工にも使う。(6面)

■車弁バネ鋼線会社が稼働
神鋼/月産600ト

神戸製鋼所は、中国で自動車エンジンバルブ用バネ(弁バネ)に用いる高級鋼線を製造・販売する共同出資会社「コベルコ・スプリングワイヤ(佛山)」が稼働した。月産600ト体制。(11面)

■習近平氏、国家主席に
党・軍・国家の三権を掌握

中国の全人代は、胡錦濤国家主席の後任として、習近平共産党総書記(党中央軍事委員会主席)を選出した。習氏は党

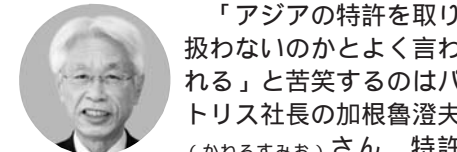
習近平国家主席は早急な環境対策に迫られる(ブルームバーク)



・軍・国家の三権を掌握。胡氏は完全引退する。(北京=時事)

●ひと.....

中国特許は時期尚早



「アジアの特許を取り扱わないのかとよく言われる」と苦笑するのはパトリス社長の加根魯澄夫(かねろすみお)さん。特許情報サービスで老舗だが、中国などの特許データの提供には乗り気ではない。現状は提供できる段階にない。需要は認めながら一歩引いて静観。(15日=10面)

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の
今回は4月1日(月)に掲載します。

ASIA

3月11日(月)

■未来志向の力強い日韓経済連携
日韓新産業貿易会議

「日韓新産業貿易会議」を韓国ソウル市で開いた。両国の経営者や大学教授ら63人が「一つの経済圏構築に向けた日韓協力」を議論。未来志向の力強い日韓経済連携を推進したいと強調。(2面)

■カルソカン、インドに開発拠点
L & Tと提携/現地化推進

カルソニックカンセイは、インドのエンジニアリング大手L & Tと提携し、同国にグローバル・エンジニアリング・センターを設置した。設計や分析、サプライヤーの現地化を進める。(7面)

■出光、アジア太平洋進出を加速
中国リスク増大を考慮

出光興産が、アジア太平洋を中心に海外展開を加速。ベトナムでの製油所の建設が固まり、カナダではシェールガス由来のLNG輸出に参画。中国リスクの増大を考慮。(13面)

出光興産の海外展開主な案件 (過去1年)

- 台湾=有機EL材料で現地パネルメーカーと提携(2012年2月)
- 中国=長春に潤滑油の営業所を設立(3月)
- ベトナム=エンジニアリング会社を設立(6月)
- 台湾=水添石油樹脂の合併設立で基本合意(7月)
- ベトナム=潤滑油の製造販売会社を設立(8月)
- インドネシア=炭鉱会社に3%出資し、販売権も取得(11月)
- カンボジア=バイオエタノール事業の推進で政府と覚書(12月)
- 豪州=燃料油販売会社を買収(12月)
- 韓国=有機EL材料の合併工場が稼働(12月)
- ベトナム=ニソン製油所プロジェクトで建設契約を締結(2013年1月)
- カナダ=LNG・LPGのアジア向け輸出プロジェクト参画(1月)

■韓国企業とリチウム電池会社
独コンティネンタル

独コンティネンタルは、韓国電池メーカーのS K Iノベーションと車載リチウムイオン電池の開発や生産、販売を手掛ける新会社を設立し業務を始めた。(7面)

■インドネシアにIH装置合併
ネツレン/日系車部品向け

ネツレンは、インドネシアで電磁誘導加熱(IH)装置事業の合併会社を5月設立する。まず現地のIH装置ユーザーの日系自動車部品メーカー向けの保守サービス事業を立ち上げる。(11面)

■ベトナム企業に水処理膜を提供
三菱レイヨン/工場・病院向け

三菱レイヨンは、ベトナムで水処理膜事業を強化する。現地エンジニアリング会社のグリーンテックと販売代理店契約。水処理膜を工場や病院、ホテルなどの排水処理設備向けに提供。(13面)

■ホーチミンに新倉庫
近鉄エクス/電子部品・精密機器

近鉄エクスプレスは、ベトナムの現地法人K W Eベトナムがホーチミンに新たな倉庫を開設し、4月1日に全面稼働する。主に電子部品や精密機器などの企業に物流サービスを提供する。(15面)

3月12日(火)

■名古屋精密、インドネシア工場
樹脂金型/4輪・2輪車ランプ向け

名古屋精密金型は、インドネシア・ブカシ県に4輪車と2輪車のランプ向け樹脂用金型の工場を3月末稼働する。ベトナムからの輸出を現地生産に切り替えて納期を短縮。日系向け。(5面)

■C & G、ジャカルタに現法
3次元CAD/ASEAN開拓

C & Gシステムズは、海外3拠点目の現地法人をインドネシア・ジャカルタ市に2014年春をめどに開設する。日系や現地企業に3次元CAD/CAMシステムを販売。ASEANを開拓。(7面)

■タイ事業所、技術拠点に
サンワテクノス/工場自動化支援

サンワテクノスは、タイ事業所に技術拠点としての機能を持たせる。電機部門の技術担当者を新たに常駐したほか、今年から自動化システム立ち上げの支援を

始めた。(8面)

■日韓の売上高、5年で倍増
S Tマイクロ/重要地域に指定

S Tマイクロエレクトロニクスは、日本と韓国地区の売上高を今後5年間で倍増する。同地区を重要地域に位置づけ、自動車用マイコンやMEMSセンサーを拡販する。(8面)

■タイ冷蔵庫、生産1000万台突破
シャープ/年産150万台規模

シャープは、タイの100%出資子会社で冷蔵庫の生産が累計1000万台を超えた。1988年5月に年3万台規模で生産を始めた。ASEAN、日米欧中に輸出。年産150万台規模。(8面)

■東芝ソリュ、シンガポール拠点
グループのIT支援強化

東芝ソリューションは、シンガポールに拠点を4月1日開設する。東芝と共同所有の東南アジアDCを活用しクラウドコンピューティングサービスを提供する。グループのIT支援強化。(9面)

■スカンジウム回収で試験設備
住友鉱山/月10kg

住友金属鉱山は、希土類元素の一つであるスカンジウムを回収する試験プラントをフィリピン子会社C B N Cに設ける。年内に試験プラント。月間10kg程度生産。(10面)

■「3 R」- 25分野で目標設定
アジア各国/ハノイ会議で宣言

アジア各国が、2023年までの10年間で、3 R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する25分野の目標を設定、問題解決に乗り出す。「ハノイ3 R宣言」として会議で採択する。(13面)

■大阪ガス、シンガポール進出
工業用ガス1億m³/コジェネなども

大阪ガスは、シンガポールで工業用天然ガス販売に参画する。現地大手ガス販売株を49%取得。2020年には1億立方メートルにコジェネ、工業炉、排熱の有効利用などの需要も開拓する。(13面)

3月13日(水)

■マレーシアに大型旗艦店
東洋ゴム/マラッカ州

東洋ゴム工業は、マレーシア・マラッカ州で、トーヨータイヤブランドの認知度向上や、販売拡大を担う大型旗艦販売

店「トーヨープレミアムオートセンター」の第1号店を開設した。(5面)

■東南アで工作機械を拡販
兼松K G K/タイに営業統括役員

兼松K G Kは、東南アジアの工作機械の販売体制を強化する。インドネシアとベトナムを現地法人化。タイ・バンコク現法に東南アジアの営業統括担当役員を常駐、アフターサービスを強化。(6面)

■インドネシアに「エティオス」
トヨタ/年1万9000台

トヨタ自動車は、インドネシアで小型車の新興国戦略車「エティオス・ファルコ」の生産・販売を始めた。価格は1億3500万円(約135万円)から。2013年度に1万9000台の販売を目指す。(5面)



トヨタの小型車「エティオス・ファルコ」

■シンガポールなどへ配信に成功
OKI/IPv6活用

OKIは、「IPv6」を使ってシンガポールとフィリピンへの映像配信に成功した。映像配信システム「OKIメディアサーバー」を用いた。需要に合わせ機能拡張や機能標準化。(8面)

■タイ向けクラウド支援
フューチャーイノベーション

フューチャーイノベーションは、コンテンツ管理システムを提供するディーエスブランドと提携した。タイをはじめアジアで、日系のASP事業者向けクラウド基盤を整備。(9面)

■ガンゼ、インドネシア生産
ソックス年500万足

ガンゼは、インドネシアに現地企業と合併会社を4月に設立、ソックス製造工場を7月に稼働する。2015年度をめどに年400万-500万足に。中国での集中生産体制のリスクを回避。(15面)

■広島銀行、インド最大手と提携
現地通貨で融資/自動車部品など

広島銀行は、インド最大手のインドステイト銀行と業務提携した。取引先企業に現地通貨で融資、現地情報の提供をして支援する。自動車部品メーカーを中心にインド進出の可能性。(17面)

3月14日(木)

■ホンダ、工場改革-海外に展開
開発・購買・生産/インドなど導入

ホンダが、工場に開発や購買部隊を張り付け、生産現場の声を吸い上げながら車両を開発する開発、購買、生産の一体改革を海外に水平展開。インドとマレーシアの2輪車工場に導入。(5面)

■ニッパツ、インドに合併
4輪車用シート/チェンナイ新工場

ニッパツは、インドで現地企業クリシュナグループと仏フォルシアの3社合併で、4輪車用シートを製造販売する新会社を設立する。チェンナイ市近郊のオラガダム工業団地に新工場。(5面)

■宇部興産、マレーシアで生産
年7万2000ト/タイヤ向け原料

宇部興産は、マレーシアでポリブタジエンゴム(BR)の合併生産を2014年秋始める。年産5万トで立ち上げ7万2000トまで能力増強。タイヤ向けなどに供給する。(10面)

■IMI、台湾企業と提携
人工呼吸器用加温加湿器

アイ・エム・アイ(IMI)は、人工呼吸器事業で台湾のVADイメディカルテクノロジと提携した。VAD工製の人工呼吸器用加温加湿器の販売とレンタルを始めた。(11面)

3月15日(金)

■「環境技術」新興国で活用
国連のDB動き出す

国連の機関と日本が開発する環境技術移転DBの本格稼働へ最終段階。優れた環境技術を誇る日本企業が多く参画する利点をアピールすることが必要。新興国への橋渡しがカギ。(深層断面=28面)

■液晶TV、韓国勢2ケタ伸び
今年/日本勢はゼロ成長

2013年の液晶テレビ出荷は上位15社の合計で11%増の2億台。サムスン電子が

韓国勢の進撃が続く(サムスン電子)



4500万台(13%増)、LG電子は2690万台(13%増)。ソニーなど日本勢は軒並み伸び率ゼロ。(時事=2面)

■河西工業、インドに合併
内装部品/スペイン大手

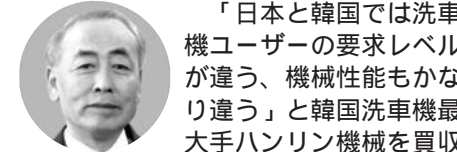
河西工業は、自動車用内装部品を製造販売するスペイン自動車部品大手グループ・アントリンとの折半出資会社をインド・チェンナイ市に設立した。25カ国に100以上の生産拠点がある。(5面)

■マレーシアにLNGプラント
日揮、年産360万ト/1700億円

日揮は、マレーシア国営石油公社のペトロナスからLNGプラントの増設工事を受注した。受注額は約1700億円。サラワク州に年産360万トのプラント1系列を建設する。(6面)

●ひと.....

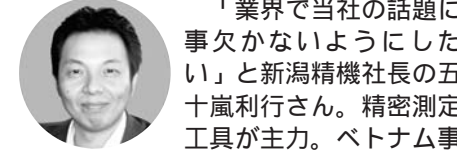
洗車機ユーザーの要求レベル



「日本と韓国では洗車機ユーザーの要求レベルが違う、機械性能もかなり違う」と韓国洗車機最大手ハンリョン機械を買収したダイフク社長の北條正樹さん。日本では、わずかな傷をつけることも許されない。だが、「韓国のユーザーは割り切っている」という。(14日=5面)

.....

半分は海外で稼ぐ



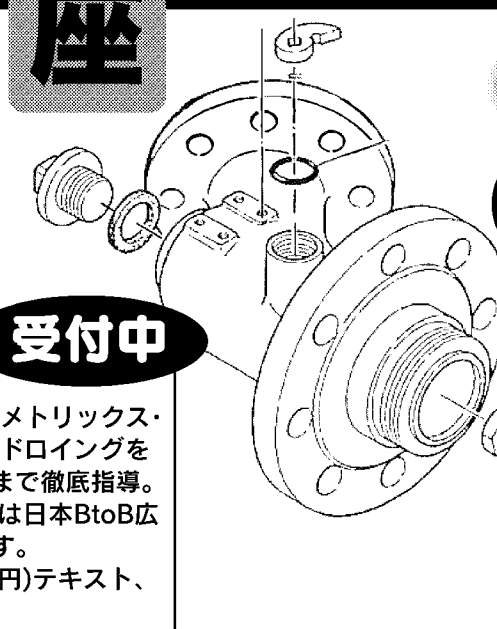
「業界で当社の話題に事欠かないようにしたい」と新潟精機社長の五十嵐利行さん。精密測定工具が主力。ベトナム事務所に続き、インドネシア事務所開設を目指している。「現地の日系自動車関連企業への販売を伸ばしていきたい」と意気込んでおり、将来は全社売り上げの半分を海外で稼ぐ考えだ。(15日=7面)

通信講座

テクニカル・イラスト 立体図面通信教育講座

基礎コース開講期間●申込時より約4ヵ月
教育内容●立体図法の90%を占めるアイソメトリックス・プロジェクト、アイソメトリック・ドローイングを中心に基礎から自社製品の作図まで徹底指導。
修了証書●既定の単位を取得した受講生には日本BtoB広告協会認定の修了証を授与します。
受講料●1名¥31,500(会員は27,300円)テキスト、副読本、用具、添削指導を含む。
定員●40名

受付中

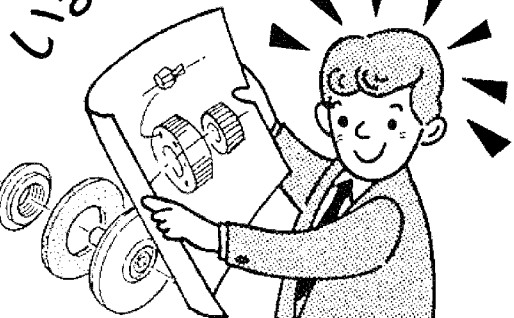


不況に強い〈特技取得〉

テクニカル・イラストレーターになるう。

4ヵ月でマスターできる、基礎から専門技術まで。

いま、特技を身につけよう!!



テクニカルイラストは、広告、カタログ、取扱い説明書などの製作には不可欠なビジュアル。しかし、欧米に比べ、日本ではテクニカル・イラストレーターの不足が指摘されています。当協会では、基礎から専門技術までを短時間で取得できるカリキュラムを編成。多くの講座修了生が産業広告界の即戦力として活躍しています。

BBAA

—お問い合わせ次第説明書進呈—

一般社団法人 日本 BtoB 広告協会

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町 2-11-3 東信水天宮ビル
TEL 03-5645-8852 FAX 03-5645-8853
http://www.bbba.or.jp